

良好な現場環境継続

圏央道舗装工事で大成 ロテックの加賀田社長

大成ロテックの加賀田健司社長は、首都圏中央連絡自動車道事業で施工を進める「成田舗装工事」「横芝光舗装工事」と、当該工事用の仮設プラントで安全パトロールを実施し、安全活動や品質管理の取り組みを確認したⅡ写真。20人以上の職員を配備する現場には若手社員も多く、職場環境や働き方などについて活発に意見を交わした。



加賀田社長は「協力会社の皆さんと良好な関係を築き、前向きに取り組む姿勢が見える現場環境が整備されている。この雰囲気は継続し、小さな危険の芽を摘み取りながら、一丸となって安全第一で現場を遂行してほしい」と呼び掛けた。

